

*PCI BUS FireWire 800 INTERFACE BOARD*

# FireWire 800インターフェースボード ユーザーズマニュアル

LHA-FW801

**Logitec**

# 目次

|  |           |
|--|-----------|
| 取扱い上のご注意 .....                             | 1         |
| ロジテックソフトウェア使用権許諾契約書 .....                  | 2         |
| 付属品の確認 .....                               | 4         |
| ごあいさつ .....                                | 6         |
| ご注意 .....                                  | 6         |
| <b>第 1 章 製品のご紹介 .....</b>                  | <b>7</b>  |
| 1 . 1 製品の特徴 .....                          | 7         |
| 1 . 2 各部の名称 .....                          | 9         |
| <b>第 2 章 Windows XP、2000 でご使用の場合 .....</b> | <b>10</b> |
| 2 . 1 接続の手順 .....                          | 10        |
| 2 . 2 接続 / インストール結果の確認 .....               | 13        |
| <b>第 3 章 Macintosh 環境でご使用の場合 .....</b>     | <b>15</b> |
| 3 . 1 接続とインストール .....                      | 15        |
| 3 . 2 接続の確認 .....                          | 18        |
| <b>第 4 章 ストレージ機器を接続する場合 .....</b>          | <b>20</b> |
| 4 . 1 接続の前に .....                          | 20        |
| 4 . 2 接続の手順 .....                          | 21        |
| 4 . 3 機器を取り外す場合 .....                      | 24        |
| <b>第 5 章 補足事項 .....</b>                    | <b>25</b> |
| 5 . 1 トラブルシューティング .....                    | 25        |
| 5 . 1 . 1 Windows XP、2000 環境でのトラブル .....   | 25        |
| 5 . 1 . 2 Macintosh 環境でのトラブル .....         | 28        |
| 5 . 2 IEEE1394 機器の増設について .....             | 31        |
| 5 . 3 オプション品について .....                     | 33        |
| <b>ハードウェア仕様 .....</b>                      | <b>34</b> |

## 取扱い上のご注意

### 警告

接続時は、電源コードを抜いてください。  
本製品をパソコン本体に接続するときには、パソコン  
本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから  
抜いてください。また、SCSI機器を接続するときも、  
同様にすべての機器の電源をOFFにしてください。



### 注意

ケガなどに注意してください。  
本製品の裏側などに不注意に触れると、ケガをするこ  
とがありますので注意してください。



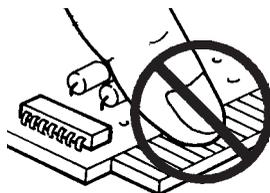
ケガに注意

静電気対策をしてください。  
本製品には、静電気に弱い部品があります。接続の前  
にパソコン本体の金属が露出している部分に触れて、  
体内の静電気を放電してから作業を行なってください。  
また、本製品の不要な部分にはなるべく触れないでく  
ださい。



静電気対策

金メッキ部分には触れないでください。  
本製品の金メッキ部分はパソコン本体と直接接  
続されます。接触不良を防止するため、直接手  
で触れないでください。



## Windows 環境でご使用の方へ

---

当社 DOS/V 対応製品は、OADG(\*1)加盟メーカーの DOS/V パソコンで一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。

そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

(\*1)OADG は「PC オープンアーキテクチャー推進協議会」の略です。

(OADG URL <http://www.oadg.or.jp/>)

---

## Logitec Ware について

---

本製品に付属のユーティリティ CD-ROM 「LogitecWare」は Windows 環境専用となっております。Macintosh 環境ではご使用になれません。

「LogitecWare」にはデータバックアップソフト「フォルダミラーリングツール」や、データ消去ツール「ディスクデータイレサ」など、便利なユーティリティが含まれています。

---

## 付属品の確認

|   |     |
|---|-----|
| FireWire800 ( IEEE1394b ) インターフェースボード ..... | 1 枚 |
| DC 電源ケーブル .....                             | 1 本 |
| Low Profile PCI スロットカバー .....               | 1 枚 |
| 「LogitecWare」CD-ROM .....                   | 1 枚 |
| ユーザーズマニュアル .....                            | 本書  |
| 保証書 / ユーザー登録カード .....                       | 1 枚 |

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

# *Memo*

# ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

## ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用してハードディスクなどに収納したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

\* MS<sup>®</sup>、Windows<sup>®</sup>は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。Macintosh、Mac OS、FireWireは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。i.LINKはソニー株式会社商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

# 第 1 章

# 製品のご紹介

## 1 . 1 製品の特徴

---

本製品はPCIバス対応のIEEE1394インターフェースボードです。

### 本製品の特徴

IEEE1394b ( FireWire800 ) に対応した9ピン ( Bilingual ) コネクタを2ポート、IEEE1394a ( FireWire400 ) に対応したコネクタを1ポート装備しています。

IEEE1394b ( FireWire800 ) 対応機器を9ピン ( Bilingual ) コネクタに接続して使用すれば800Mbps ( 理論値 ) の高速転送にてご使用になることができますので、大容量のデータ転送時に大変便利です。また、従来のIEEE1394a ( FireWire400 ) 機器も、そのまま接続することができます。

本製品は64bit PCIバス対応製品ですが、32bit PCIバススロットにも接続することができます ( \* )。

\* ただし、32bit PCIバススロットに接続する際、パソコン内に本製品が収納できるスペースがある必要があります。

付属のDC電源ケーブルを使用することにより、パワースタビライザ機器の安定した動作が可能です。また、過電流保護機能により、万一の過電流からパソコンを守ります。( 供給可能なパワースタビライザ電力については、巻末の「ハードウェア仕様」をご参照ください )



### ご注意

---

本製品はスリープモード、サスペンドモードなどのような省電力モードには対応していません。本製品を使用する場合はパソコン本体の省電力機能を使わない設定にしてください。設定方法は第5章の「5 . 1 トラブルシューティング」をご参照ください。また、システムの終了オプションで表示される「スタンバイ」や、パソコン本体のサスペンドスイッチは使用しないでください。

---



参考

IEEE1394はメーカーによって「FireWire」もしくは「i.LINK」などと呼ばれることがあります。

## 対応パソコンについて

本製品は以下のパソコン本体に接続して使用することができます。すべて64bitまたは32bitのPCIバス拡張スロット(Rev. 2.2以降:Low Profile PCIも可)を搭載している機種に限定されます。

|             |   |
|-------------|---|
| 各社          | DOS/V パソコン  |
| 日本電気株式会社    | PC98-NX シリーズ  |
| アップルコンピュータ社 | Power Mac G4<br>Power Macintosh G3 (Blue and White) |

32bit PCIバスで使用する場合は、本製品の64bitコネクタ部分が、パソコンと接触しないこと、また、64bitのコネクタ部分を収納するスペースが確保されている必要があります。

## 対応OSについて

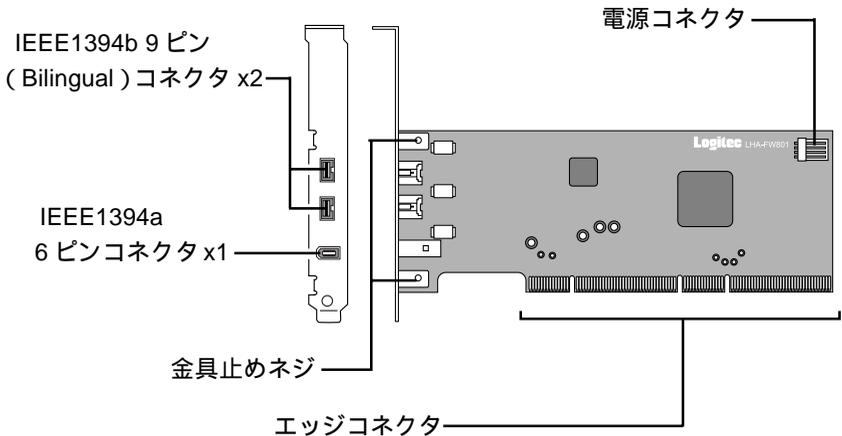
本製品は以下のOSで使用することができます。すべて日本語OSのみに限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

マイクロソフト株式会社  
Windows XP Home Edition/Professional  
Windows 2000 Professional

アップルコンピュータ社  
Mac OS X 10.2.4 以降

本製品はWindows Me、98(Second Edition含む)や、Mac OS X 10.2.3以前のMac OSではご使用になれません。

## 1.2 各部の名称



### IEEE1394b 9ピン(Bilingual) コネクタ x2

外付け IEEE1394b ( FireWire800 ) 機器を接続します。  
( バスパワー対応 )

### IEEE1394a 6ピンコネクタ x1

外付け IEEE1394a ( FireWire400 ) 機器を接続します。  
( バスパワー対応 )

### 金具止めネジ

取付金具を固定しているネジです。Low Profile PCI用の取付金具と交換する場合は、基板を裏返してネジを外し、取付金具を取り外してください。

### エッジコネクタ

PCIバスの拡張スロットに接続する部分です。この部分には直接手を触れないでください。

### 電源コネクタ

付属のDC電源ケーブルを通じて、パソコン本体の内部電源ケーブルを接続します。

## 第 2 章

# Windows® XP、2000で ご使用の場合

### 2 . 1 接続の手順

本製品は PCIバス (Rev2.2 以降) に準拠した 64bitPCIバスまたは 32bitPCIバス スロットに接続します。接続は以下の手順で行ないます。

**Point**

ポイント

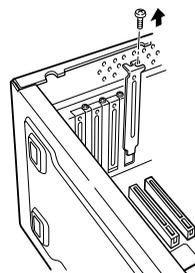
Low Profile PCI対応の拡張スロットに接続する場合は、あらかじめ本製品の取付金具を Low Profile PCI 用のものと交換しておいてください。



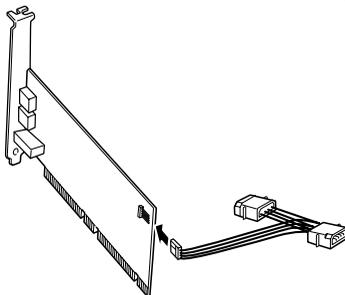
必ずパソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。

パソコン本体の取扱説明書などを参照して、パソコン本体のカバーを取り外します。

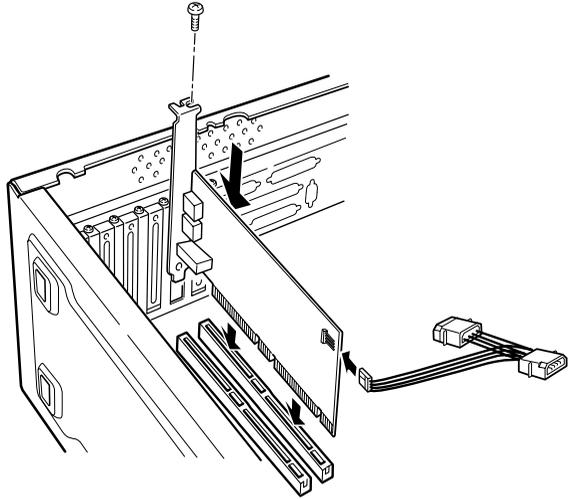
IEEE1394 インターフェイスボードを接続する PCIバスの拡張スロットを選択し、スロットカバーを取り外します。



本製品にバスパワー対応機器を接続して使用する場合は、付属のDC電源ケーブルを本製品の電源コネクタに接続します。このコネクタは正しい方向でしか接続できません。

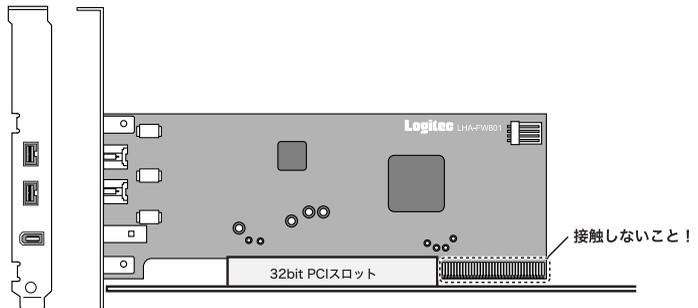


IEEE1394 インターフェイスボードを PCI バスの拡張スロットに挿入します。なるべく垂直に挿入して、完全にセットされたことを確認したら、ネジで固定してください。



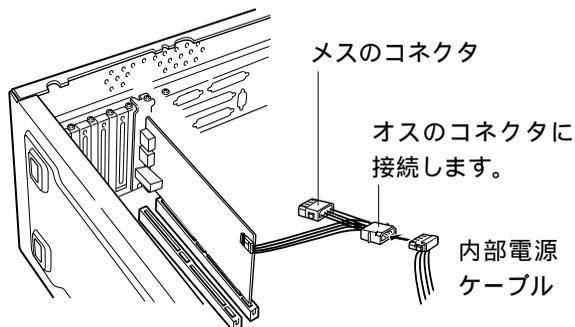
### 32bit PCI バスで使用する場合の注意

ご使用のパソコンによっては、64bit エッジコネクタ部がマザーボード上の部品と接触する場合があります。接触する場合や、接触する恐れのある場合は、他の PCI スロットに接続してください。



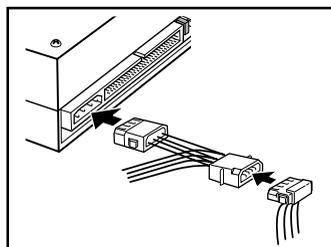
## 2.1 接続の手順

DC電源ケーブルを接続した場合は、パソコン本体の内部電源ケーブル（余っているもの）を接続します。



### ご注意

もし、内部電源ケーブルに余っているものがない場合は、CD-ROMドライブなどから内部電源ケーブルを外し、中間に本製品のDC電源ケーブルを接続してください。



すべての接続が終了したら、パソコン本体のカバーを元に戻します。このとき、ケーブルなどを挟み込まないようにご注意ください。

以上で本製品の接続は終了です。コンピュータの電源をONにして、Windowsを起動してください。自動的にOS標準のドライバがインストールされます。これで本製品は使用可能になります。

## 2.2 接続 / インストール結果の確認

ここでは、これまでの接続 / インストール作業が正常に行われているかどうかを確認します。

### Windows XP の場合

「スタート」メニューから「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックしてください。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されたら「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

接続されている機器の一覧が表示されますので、「1394 バス ホストコントローラ」をダブルクリックして開いてください。

この名前があることを確認



「1394 バスホストコントローラ」を開いたときに、「Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」が表示され、「！」マークがついていなければ、本製品は正常に認識されています。右上のクローズボックス (×) をクリックしてデバイスマネージャを閉じてください。

「！」マークが付いている場合は、第 5 章「5.1 トラブルシューティング」をご参照ください。

## Windows 2000 の場合

デスクトップ上で「マイコンピュータ」のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックしてください。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されたら「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

接続されている機器の一覧が表示されますので、「1394バス ホストコントローラ」をダブルクリックして開いてください。

この名前があることを確認



「1394 バスホストコントローラ」を開いたときに、「Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」が表示され、「！」マークがついていなければ、本製品は正常に認識されています。右上のクローズボックス (×) をクリックしてデバイスマネージャを閉じてください。

「！」マークが付いている場合は、第5章「5.1 トラブルシューティング」をご参照ください。

# 第3章

## Macintosh®環境で ご使用の場合

ここでは本製品をMacintosh 環境でご使用になる場合の接続とドライバのインストール手順をご説明いたします。



### ご注意

本製品をMacintosh環境でご使用になる場合、以下の環境条件を満たしていなければなりません。

対応 OS :

・ Mac OS X 10.2.4 以降

対応機種 :

・ Power Mac G4 シリーズ

・ Power Mac G3 (Blue & White) シリーズ

## 3.1 接続とインストール

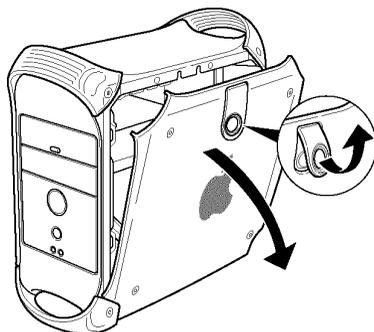
本製品は、接続後自動的に OS 標準ドライバがインストールされます。

1

はじめにご使用のコンピュータの電源を切り、電源コードを抜いておいてください。

2

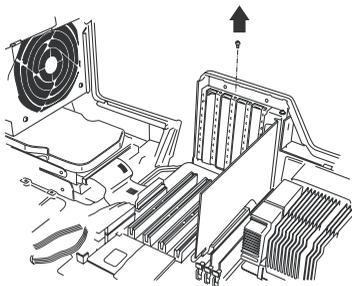
ご使用のコンピュータの側面部にある取っ手を持ち上げサイドカバーを開いてください。



### 3.1 接続とインストール

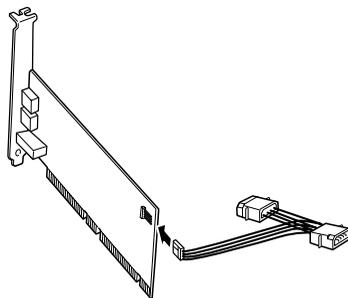
3

本製品を接続する PCI バスの拡張スロットを選択し、ポートアクセスカバーを固定しているネジを取り外してから、アクセスカバーを取り外してください。



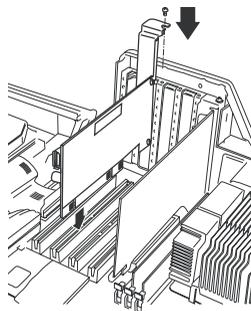
4

本製品にバスパワー対応機器を接続して使用する場合は、付属の DC 電源ケーブルを本製品の電源コネクタに接続します。このコネクタは正しい方向でしか接続できません。



5

本製品を PCI バスの拡張スロットに挿入します。なるべく垂直に挿入して完全にセットされたことを確認したら、手順 3 で取り外したネジで固定してください。

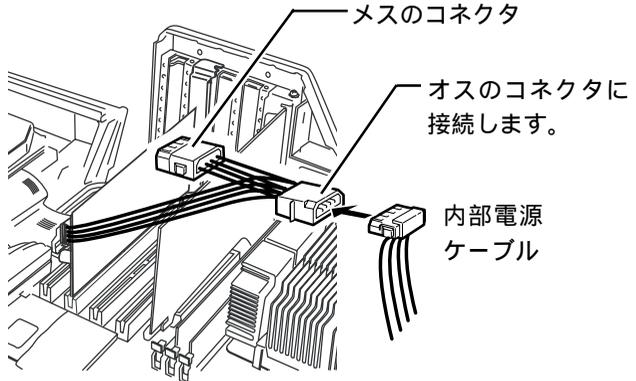


ご注意

本製品を挿入するときは、無理な力を加えないでください。

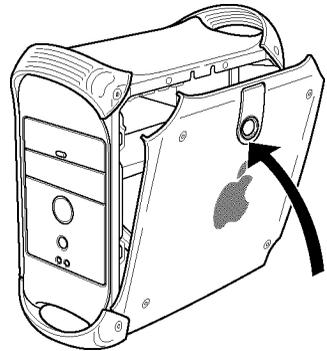
6

DC電源ケーブルを接続した場合は、パソコン本体の内部電源ケーブル（余っているもの）を接続します。



7

接続が完了したら、コンピュータの側面カバーを閉じます。このとき、ケーブルなどを挟み込まないようにご注意ください。以上で本製品の接続は終了です。



8

コンピュータの電源をONにして、Mac OS Xを起動してください。自動的にOS標準のドライバがインストールされます。これで本製品は使用可能になります。

## 3 . 2 接続の確認

### Mac OS X 10.3.x の場合

アップルメニューより「このMacについて」を選択してください。



右の画面が表示されます。「詳しい情報」ボタンをクリックしてください。



システム特性画面が表示されます。「ハードウェア」欄の「FireWire」をクリックし、「FireWire 装置ツリー」欄に「FireWire バス」がひとつ追加されたら、本製品は正常に認識されています。

A screenshot of the 'システム特性' (System Profiler) window. The 'ハードウェア' (Hardware) section is expanded, and 'FireWire' is selected. The 'FireWire 装置ツリー' (FireWire Device Tree) section shows one 'FireWire バス' (FireWire Bus) listed. A box highlights this entry with a line pointing to the number '1' in the text '1. FireWire をクリック'. Another box highlights the 'FireWire バス:' section, which shows '速度: 800 Mb/秒の速度' (Speed: 800 Mb/sec speed). A second box points to this section with the text '2. この部分に FireWire バスが 1 つ追加されています。' (2. One FireWire bus is added to this part.)

1. FireWire をクリック

2. この部分に FireWire バスが 1 つ追加されています。(もうひとつの FireWire バスは、コンピュータに標準で搭載されている FireWire コネクタが使用しているバスです。)

参考：

本製品の FireWire バスには「速度：800Mb/ 秒の速度」と表示されます。

## Mac OS X 10.2.4 ~ 10.2.8 の場合

確認の前に、本製品に FireWire 機器を接続しておいてください。

アップルメニューより「この Mac について」を選択してください。



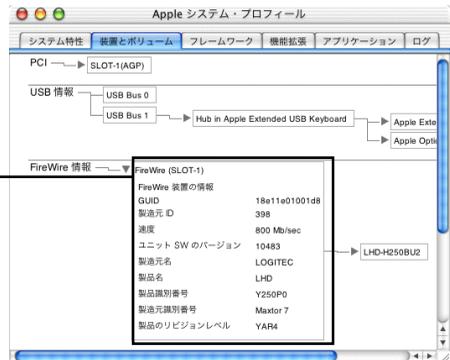
右の画面が表示されます。「詳しい情報」ボタンをクリックしてください。



クリック

Apple システムプロフィール画面が表示されます。「装置とボリューム」タブをクリックし、「FireWire 情報」の欄で「FireWire (SLOT-*n*)」の先に本製品に接続済みの機器のデバイス名が表示されていれば、本製品は正常に認識されています。

この部分に本製品に接続したデバイス名が表示されていることを確認



## Point

## ポイント

(SLOT-*n*)の*n*は変数です。複数の FireWire 機器が別々のインターフェース上に接続されている場合はデバイス名を確認して、本製品の SLOT を特定してください。

# 第4章

## ストレージ機器を 接続する場合

本章ではHDユニットやDVDユニットのようなストレージ機器を本製品に接続する場合の手順を概略的に説明します。本章の内容は本製品が正しくパソコンに接続済みで、正常に動作していることを前提としています。

### 4.1 接続の前に

接続を行う際は、接続する IEEE1394 機器のタイプにより、以下の IEEE1394 ケーブルをご使用ください。

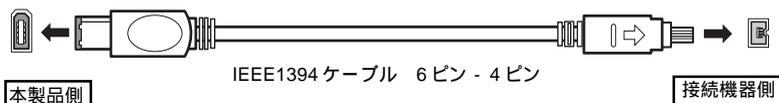
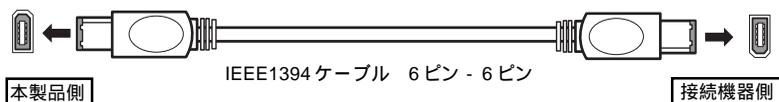
#### IEEE1394b ( FireWire800 ) 対応機器と接続する場合

この場合、9ピン ( Beta ) - 9ピン ( Beta ) の IEEE1394 ケーブルを使用して接続を行います。



#### IEEE1394a ( FireWire400 ) 対応機器と接続する場合

この場合、接続先の機器のポートが6ピンの場合は6ピン - 6ピンのIEEE1394 ケーブルを、接続先の機器のポートが4ピンの場合は6ピン - 4ピンのIEEE1394 ケーブルを使用して接続を行います。



9ピン ( Bilingual ) - 6ピン、9ピン ( Bilingual ) - 4ピン、ケーブルを使用して、本製品の9ピンコネクタと、IEEE1394a ( FireWire400 ) 機器を接続することもできます。

### Point

#### ポイント

弊社では、上でご紹介したIEEE1394ケーブルをオプション品として取り扱っております。弊社製 IEEE1394 ケーブルにつきましては「5.3 オプション品について」をご参照ください。

## 4.2 接続の手順



### ご注意

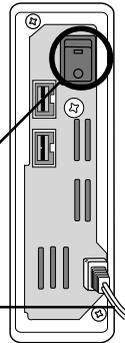
ここで説明する手順は概略的なものです。IEEE1394 ( FireWire ) 機器にはそれぞれ特有の設定や注意事項などがありますので、詳細な手順については IEEE 1394 ( FireWire ) 機器のマニュアルをご参照ください。

接続は以下の手順で行います。パソコン本体の電源が ON になっている状態で接続を行ってもかまいません。

IEEE1394 機器をセルフパワーで使用する場合は、IEEE 1394機器の電源コードをコンセントに接続して、電源を ON にします。

1. コンセントに接続

2. 電源を ON に



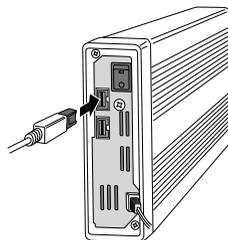
### ご注意

IEEE1394 機器をセルフパワーで使用する場合は、必ず最初に電源を ON にしてください。IEEE1394 機器に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。

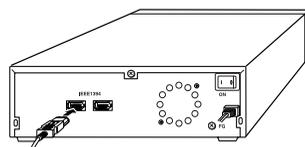
## 4.2 接続の手順

IEEE1394 機器に IEEE1394 ケーブルを接続します。機器に同じ IEEE1394 コネクタが 2 個以上ある場合、原則的にどのコネクタを使用してもかまいません。ここで使用しないコネクタは、IEEE1394 機器の増設を行うときに使用しますが、今は開いたままかまいません。

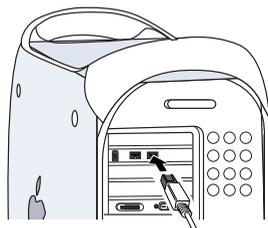
IEEE1394b ( FireWire800 ) 対応機器に 9 ピンのコネクタを接続している例



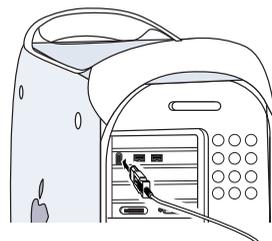
IEEE1394 ( FireWire400 ) 対応機器に 6 ピンのコネクタを接続している例



IEEE1394 ケーブルのもう片方のコネクタを本製品の外部 IEEE1394 コネクタに接続してください。



9 ピンのコネクタへの接続例



6 ピンのコネクタへの接続例

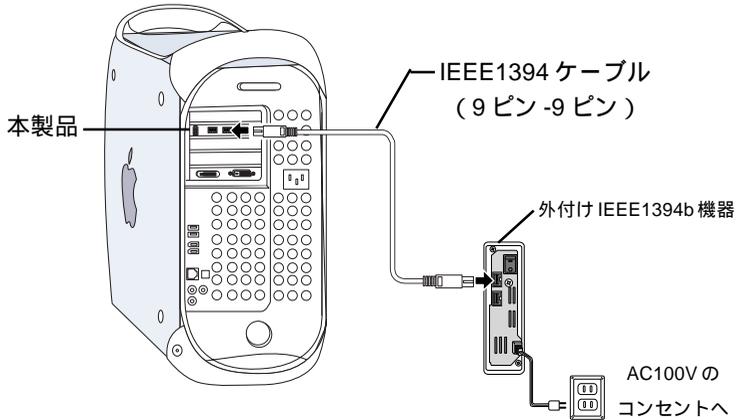


### ご注意

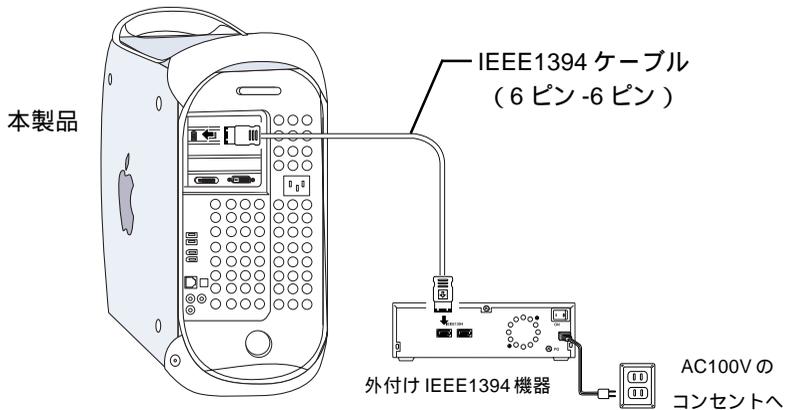
複数の IEEE1394 機器を使用している場合、他の機器が動作しているときに IEEE1394 機器を接続するのは止めてください。トラブルの原因となります。

以上で接続は終了です。全体の接続図は以下ようになります。

### IEEE1394b ( FireWire800 ) 接続例



### IEEE1394a ( FireWire400 ) 接続例



#### Point

#### ポイント

- ・ 詳細な接続・使用方法については、接続する機器の取扱説明書をご参照ください。
- ・ 複数のIEEE1394機器を接続したい場合は、第5章の「5.2 IEEE1394機器の増設について」をご参照ください。

## 4.3 機器を取り外す場合

---

IEEE1394 はホットプラグオフ（パソコン本体の電源が ON の状態での取り外し）をサポートしています。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。以下のような点に注意し、IEEE1394 機器のマニュアルに記載された方法で取り外してください。

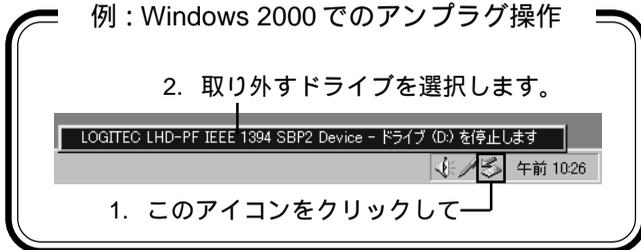
### Windows、Macintosh 共通の注意事項

- ・IEEE1394機器のアクセス中に取り外しを行ってはいけません。たとえ取り外す機器でなくても、併用している IEEE1394 機器のアクセス中に機器の取り外しを行うと、トラブルの原因となる場合があります。
- ・ストレージ機器に保存されたファイルやアプリケーションを開いているときにストレージ機器を取り外してはいけません。

### Windows 環境での注意事項

- ・ストレージ機器を取り外す場合は、「アンプラグ」と呼ばれる操作が必要です。詳細についてはストレージ機器のマニュアルをご参照ください。

#### 例：Windows 2000 でのアンプラグ操作



### Macintosh 環境での注意事項

- ・ストレージ機器を取り外す場合は、以下のいずれかの方法でアンマウント処理をしてから取り外してください。詳細についてはストレージ機器のマニュアルをご参照ください。
  - ・ドライブのアイコンをゴミ箱に重ねる
  - ・ドライブのアイコンを 1 回クリックして選択状態にし、アップルキー + 「Y」キーを押す

# 第5章 補足事項

## 5.1 トラブルシューティング

---

### 5.1.1 Widows XP、2000 環境でのトラブル

---

デバイスマネージャ上に「IEEE1394 バスホストコントローラ」が表示されない。

デバイスマネージャは「種類別に表示」する設定(初期設定)になっていますか? 「接続別に表示」する設定だと、他の項目の下になるため、最初にウィンドウを開いたときに見えません。

一度システムを終了して、再起動してみてください。

本製品が拡張スロットにしっかりと挿入されているかどうかを確認してください。斜めに浮いていたり、ゴミなどによって接触不良が起こっていませんか?

本製品を接続している拡張スロットを変更してみてください。

デバイスマネージャで「Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」に「！」マークが付いている。

本製品を接続している拡張スロットを変更してみてください。本製品の使用するシステムリソース (IRQ や I/O アドレスなど) が、他の機器と競合している可能性があります。使用しない機器を取り外したり、使用しない機能を停止状態にしてリソースを確保するか、他の機器のリソースを変更してみてください。

## 5.1 トラブルシューティング

### 5.1.1 Windows XP、2000 環境でのトラブル

ストレージ機器を接続したが認識されない。

ストレージ機器の電源は ON になっていますか？  
IEEE1394 ケーブルはきちんと接続されていますか？ 接触不良はありませんか？

本製品の電源コネクタに DC 電源ケーブルは接続されていますか？ バスパワー対応機器を使用する場合、DC 電源ケーブルが正しく接続されていなければ機器が認識されません。接続したのは HD ユニットではありませんか？ Windows 環境の場合、HD ユニットはフォーマットが終了しないと、「マイコンピュータ」にアイコンが登録されません。

デバイスマネージャの「IEEE1394 バスコントローラ」の「Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」に、「！」マークが付いていませんか？ このマークがついている場合は、先にそちらのトラブルシューティング項目を参照してください。

ストレージ機器には特有の設定が必要なものもあります。ストレージ機器のトラブルシューティングも参照してください。多くの IEEE1394 機器を接続している場合、認識されない機器だけを本製品に接続して試してみてください。これで問題がなければ以下のような原因が考えられます。

- ・必要とされるバスパワー電力が本製品の供給可能な量を超えている可能性があります。バスパワーで動作する機器の数を減らしてください。
- ・ケーブル長の制限に問題がある可能性があります。「5.2 IEEE1394 機器の増設について」を参照して、ケーブル長をチェックしてください。
- ・接続にループが発生している可能性があります。「5.2 IEEE1394 機器の増設について」を参照して、接続形態チェックしてください。

DVカメラを接続したが、デバイスマネージャで「イメージングデバイス」が表示されない。

DVカメラの電源はONになっていますか？

IEEE1394ケーブルはきちんと接続されていますか？ 接触不良はありませんか？

デバイスマネージャの「IEEE1394 バス ホスト コントローラ」の「Texas Instruments OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller」に、「！」マークが付いていませんか？ このマークがついている場合は、先にそちらのトラブルシューティング項目を参照してください。

ビデオキャプチャが途中で終了してしまう。

DVカメラをバッテリーで使用していませんか？

ハードディスクの容量は不足していませんか？ 空き容量がなくなるとビデオキャプチャは中断されてしまいます。

省電力モードから復帰できない。

本製品は省電力モードをサポートしていません。省電力機能はOFFにしてご使用ください。

Windows XP, 2000 で省電力機能をOFFにするには、「コントロールパネル」「電源オプション」を起動します。(Windows XP の場合、これはクラシック表示での起動方法です。)

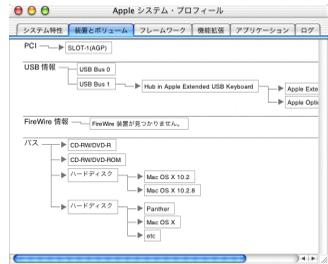
以下のウィンドウが表示されたら、「システムスタンバイ」、「システム休止状態」を「なし」にして、OK ボタンをクリックしてください。(「システム休止状態」は下のように表示されない場合もあります。)



## 5.1.2 Macintosh 環境でのトラブル

Mac OS X 10.2.8までの環境でApple システム・プロフィールで「FireWire 装置が見つかりません」と表示される

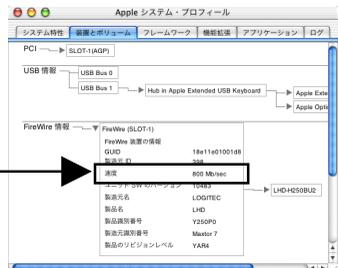
Mac OS X 10.2.8までの「Apple システム・プロフィール」では、本製品を接続しただけでは、「FireWire 情報」は表示されません。FireWire 装置を接続することにより、「FireWire 装置の情報」が表示されます。



FireWire 800 機器を FireWire 400 ポート (6 ピンコネクタ) に接続したところ、「速度」の表示が「800 Mb」と表示される。

「システムプロファイラ (Apple システム・プロフィール)」で表示される FireWire 装置の「速度」は、実際に動作している速度ではなく、その装置が FireWire 800 であれば「800 Mb」と表示されるようです。FireWire 400 ポートに接続していれば、400 Mb/秒の速度で動作していますので、動作に問題はありませぬ。

FireWire 800 対応機器を FireWire 400 ポート (6 ピン) コネクタに接続してもこのように表示されてしまう。



Mac OS X 10.2.8 の例

ストレージ機器を接続したが認識されない。

ストレージ機器の電源はONになっていますか？

IEEE1394 ( FireWire ) ケーブルはきちんと接続されていますか？ 接触不良はありませんか？

本製品の電源コネクタにDC電源ケーブルは接続されていますか？ バスパワー対応機器を使用する場合、DC電源ケーブルが正しく接続されていなければ機器が認識されません。ストレージ機器には特有の設定が必要なものもあります。ストレージ機器のトラブルシューティングも参照してください。多くのIEEE1394機器を接続している場合、認識されない機器だけを本製品に接続して試してみてください。これで問題がなければ以下のような原因が考えられます。

- ・必要とされるバスパワー電力が本製品の供給可能な量を超えている可能性があります。バスパワーで動作する機器の数を減らしてください。
- ・ケーブル長の制限に問題がある可能性があります。「5.2 IEEE1394機器の増設について」を参照して、ケーブル長をチェックしてください。
- ・接続にループが発生している可能性があります。「5.2 IEEE1394機器の増設について」を参照して、接続形態チェックしてください。

DVカメラを接続したが、iMovieで認識されているかどうか分からない。

DVカメラの電源はONになっていますか？

IEEE1394 ( FireWire ) ケーブルはきちんと接続されていますか？ 接触不良はありませんか？

その機器はご使用のMacintoshマシンに対応していますか？

DVカメラに付属のマニュアルをご確認ください。

ビデオキャプチャが途中で終了してしまう。

DVカメラをバッテリーで使用していませんか？

ハードディスクの容量は不足していませんか？ 空き容量がなくなるとビデオキャプチャは中断されてしまいます。

## 5.1 トラブルシューティング

### 5.1.2 Macintosh 環境でのトラブル

省電力モードから復帰できない。

本製品は省電力モードをサポートしていません。省電力機能はOFFにしてご使用ください。

- ・Mac OS X で省電力機能を OFF にするには、「アップル」メニューから「システム環境設定」をクリックし、「システム環境設定」画面で「省エネルギー」をクリックし「省エネルギー」画面で「スリープ」タブを選択して、「コンピュータがスリープするまでの静止している時間」を「しない」に設定してください。

その他：弊社ホームページについて

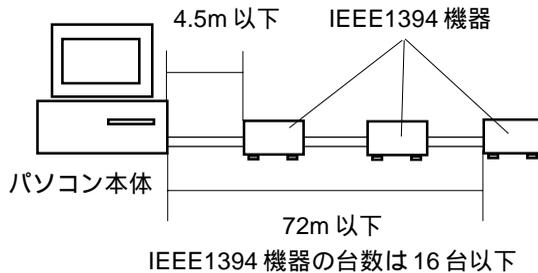
弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

## 5.2 IEEE1394 機器の増設について

IEEE1394 コネクタを 2 個装備している IEEE1394 機器は数珠つなぎ（ダイジーチェーン型）に増設することができます。

### ダイジーチェーン型の接続例



このような接続を行う場合、一本のケーブルの長さは最大 4.5m まで、ケーブル長の合計は最大 72m までに制限されます。また、IEEE1394 機器の台数は 16 台以下（パソコン本体を含まない）に制限されます。

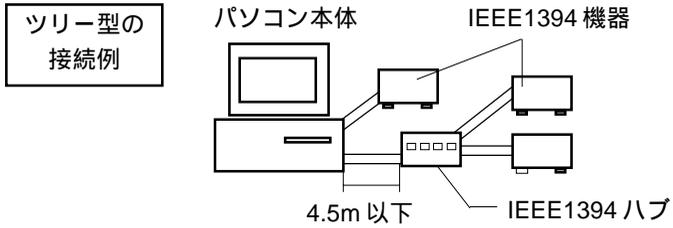


### ご注意

ダイジーチェーン型に増設を行う場合、ホットプラグする機器は終端に接続してください。中間の機器をホットプラグで取り外すと、他の機器に影響を与えます。

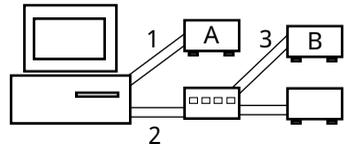
本製品のように IEEE1394 コネクタを複数装備したインターフェイスボードや、IEEE 1394 ハブを使用すると、接続を分岐させて「ツリー型」に増設することができます。（次ページ上図参照）この場合も 1 本のケーブルは最大 4.5m 以下です。接続台数は 62 台以下（パソコン本体を含まない）ですが、Windows 環境ではストレージ機器の台数はドライブ文字の限界（A: ~ Z: でシステムが使用していないもの）に制限されます。

5.2 IEEE1394 機器の増設について



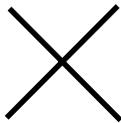
また、ツリー型の場合、IEEE1394機器間で経路できるケーブルの本数に最大 16 本という制限があります。

例えば右図の「機器 A」と「機器 B」の間には 3 本のケーブルが使用されています。このようにカウントしたときに、どの機器の間にも 16 本を越えるケーブルがあつてはならないという制限です。

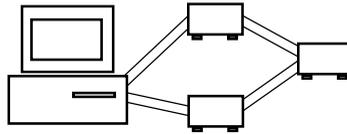


経路するケーブルは16本まで！

ツリー型の接続では接続形態が複雑になりがちですが、接続の中にループ（たどっていくと元に戻ってしまうような接続）があつてはいけません。

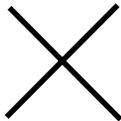


これはダメ

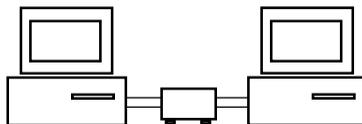


どこか一本ケーブルを外せばループが解消されてOK！

また、複数のパソコンが 1 台の IEEE1394 機器を同時に使用することはできません。



これはダメ



どっちで使うのかははっきり決めてよ！

## 5.3 オプション品について

弊社では本製品とIEEE1394 ( FireWire ) 機器を接続するためのケーブルを別売のオプション品として取り扱っております。オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求め下さい。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www.logitec-direct.jp>

### IEEE1394b 専用ケーブル ( 9 ピン -9 ピン )

| 型番           | 長さ    | 備考                            |
|--------------|-------|-------------------------------|
| CB- IBB- 011 | 1.1 m | 9 ピン ( Beta ) - 9 ピン ( Beta ) |

### IEEE1394 変換ケーブル

| 型番           | 長さ    | 備考                        |
|--------------|-------|---------------------------|
| CB- I96- 011 | 1.1 m | 9 ピン ( Bilingual ) - 6 ピン |
| CB- I96- 006 | 0.6 m |                           |
| CB- I94- 011 | 1.1 m | 9 ピン ( Bilingual ) - 4 ピン |
| CB- I94- 006 | 0.6 m |                           |

| 型番            | 長さ    | 備考          |
|---------------|-------|-------------|
| CB- I66-021S  | 2.1 m | 6ピン - 6ピン   |
| CB- I66-011S  | 1.1 m |             |
| CB- I66-006S  | 0.6 m |             |
| CB- I64- 021S | 2.1 m | 6 ピン - 4 ピン |
| CB- I64- 011S | 1.1 m |             |
| CB- I64- 006S | 0.6 m |             |

接続する機器と本製品のコネクタ形状をよくご確認のうえお求めください。

# ハードウェア仕様

|               |            |                                       |             |
|---------------|------------|---------------------------------------|-------------|
| 機種名           |            | LHA- FW801                            |             |
| ホストバス         |            | 64bit / 33MHz PCI バス Rev 2.2          |             |
| 対応バス          |            | 64bit または、32bit PCI バス ( Rev 2.2 以降 ) |             |
| インターフェース      |            | IEEE1394b - 2002<br>IEEE1394a - 2000  |             |
| 最大データ転送速度     | IEEE 1394b | 800Mbps (FireWire 800)                | *1          |
|               | IEEE 1394a | 400Mbps (FireWire 400)                | *1          |
| コネクタ          | IEEE 1394b | 9 ピン ( Bilingual ) コネクタ               | × 2         |
|               | IEEE 1394a | 6 ピン コネクタ                             | × 1         |
| 環境条件<br>*2    | 動作時        | 温度                                    | 10 ~ 35     |
|               |            | 相対湿度                                  | 20 % ~ 80 % |
|               | 保管時        | 温度                                    | - 10 ~ 50   |
|               |            | 相対湿度                                  | 10 % ~ 90 % |
| 入力電圧          |            | DC + 5V ± 5% DC + 12V ± 5% *3         |             |
| IEEE 機器への電源供給 |            | 最大 18 W ( +12V 1.5A ) *4              |             |
| 外形寸法 縦 × 横    |            | 64 × 163 mm *5                        |             |
| 質量            |            | 70 g *6                               |             |

\*1 理論値。

\*2 ただし結露なきこと。

\*3 PCIバスより供給

\*4 付属のDC電源ケーブル接続時

\*5 スロットカバー除く、

Low Profile PCI MD2 サイズ

\*6 ボードのみ。

# *Memo*

# *Memo*

LHA-FW801 V02



 **ロジテック株式会社**  
<http://www.logitec.co.jp/>